

水鏡山鳥齋

二

10

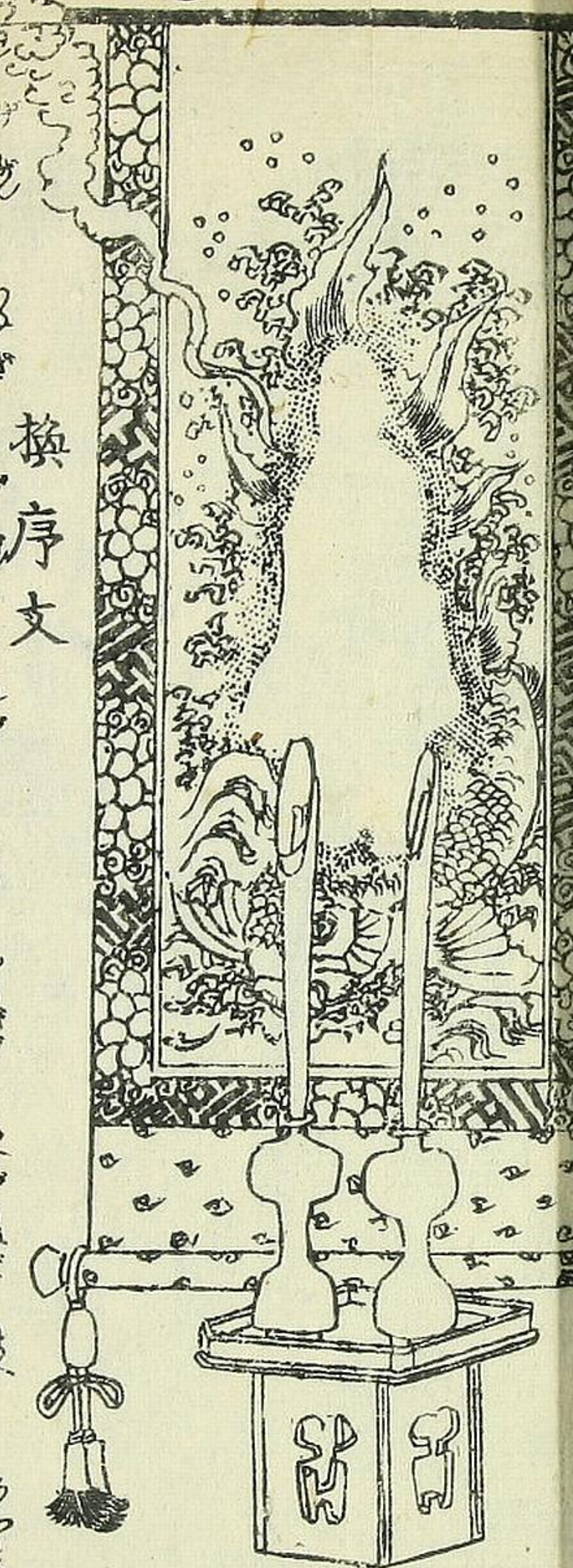
15

20

25

30

A527
2



換序文

戲文の襲衣ハ雅文の公服ニ遠く不及と雖電の前此柄襦
姿ハ却ツて見憎一法迎有來一深模様ハ人愈見飽て在へられハ
唯新形の新一衣を專一と織出せど襪襪みざも錦と言ふ不叶何
襲衣ハ針目の多き洗濯物の名ハ通まよるを如何みせん

元治九龍集丑阪月

鶴亭秀賀記



48-7650



右衛門元賢
鷹塚重
舊臣
捕

正行朝臣の孫女
彌生御前
鷹塚の粉重太郎實八捕

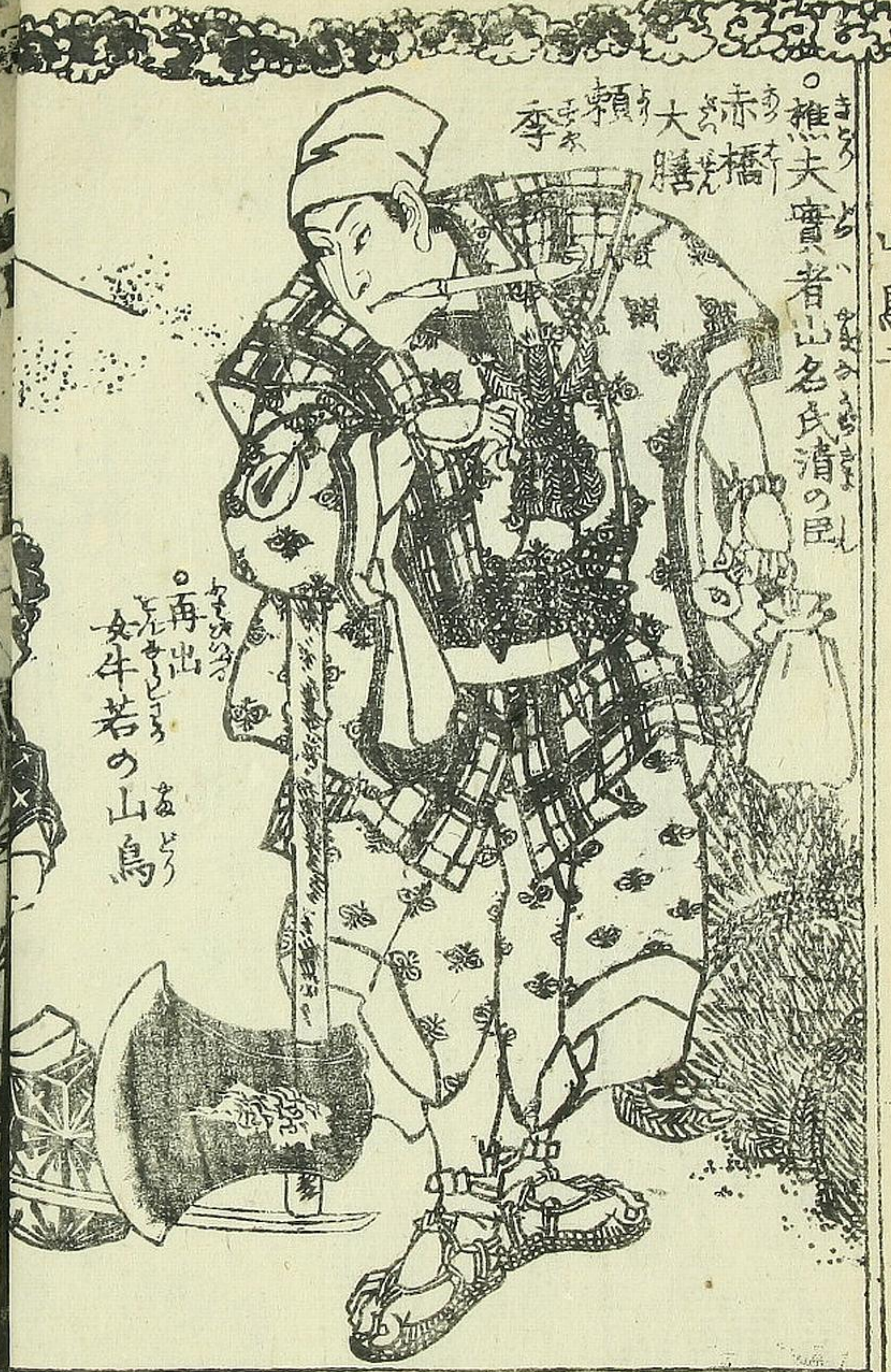
左門
子
山鳥石小

天津の長者
渡邊左門
時方

天津
太郎
時員



眞人
金魚
道人實者
菊池武重の臣
小森當意軒



再出
女牛若の山鳥

季頼大赤
膳橋

○樵夫實者山名氏清の臣

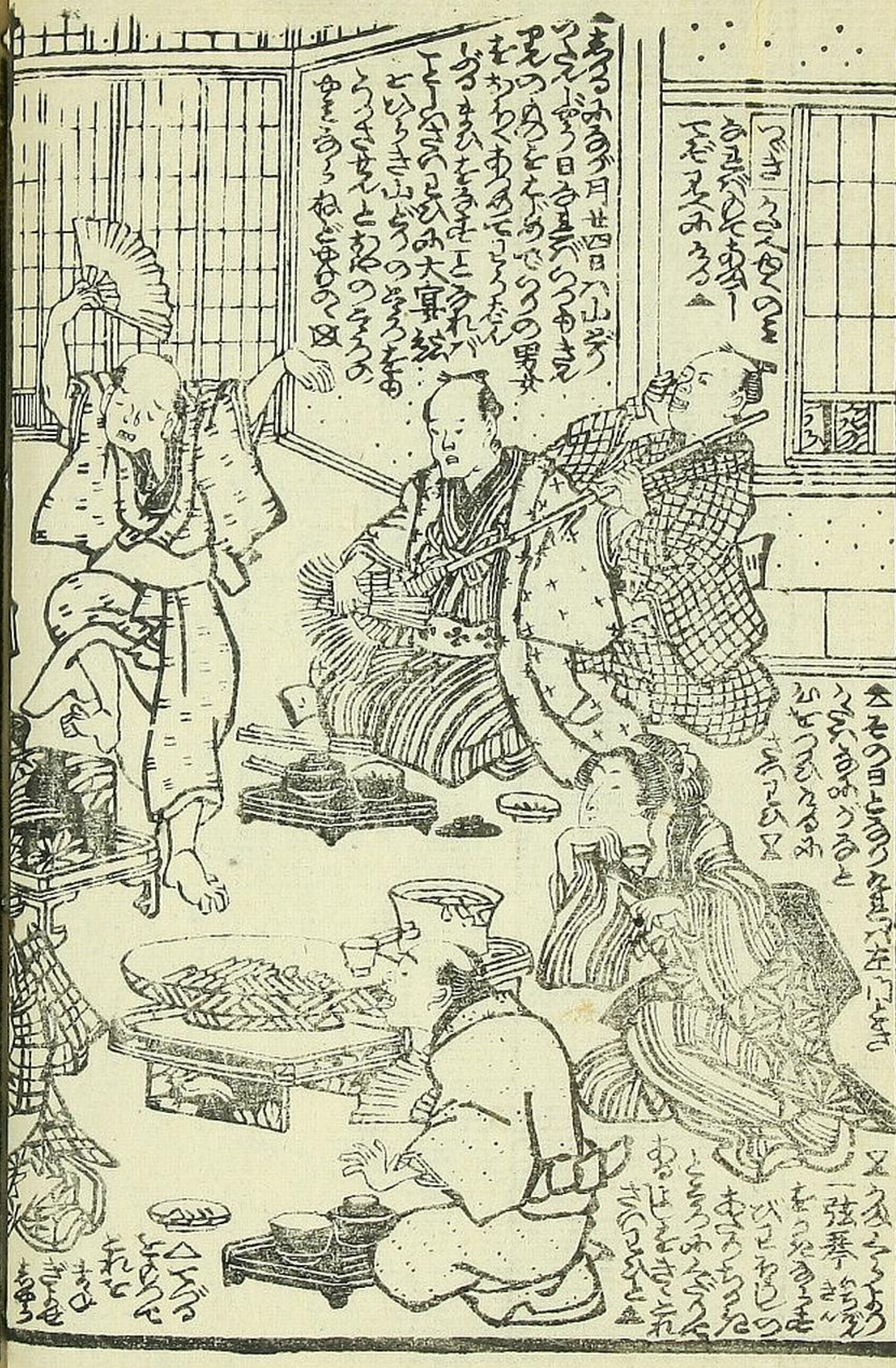
山鳥



この部屋は
主人の
書斎である
と云ふが
此の部屋は
主人の
書斎である
と云ふが

一巻目

この部屋は主人の書斎である
と云ふが此の部屋は主人の
書斎であると云ふが



この部屋は
主人の
書斎である
と云ふが
此の部屋は
主人の
書斎である
と云ふが

一巻目

この部屋は主人の書斎である
と云ふが此の部屋は主人の
書斎であると云ふが

この部屋は主人の書斎である
と云ふが此の部屋は主人の
書斎であると云ふが

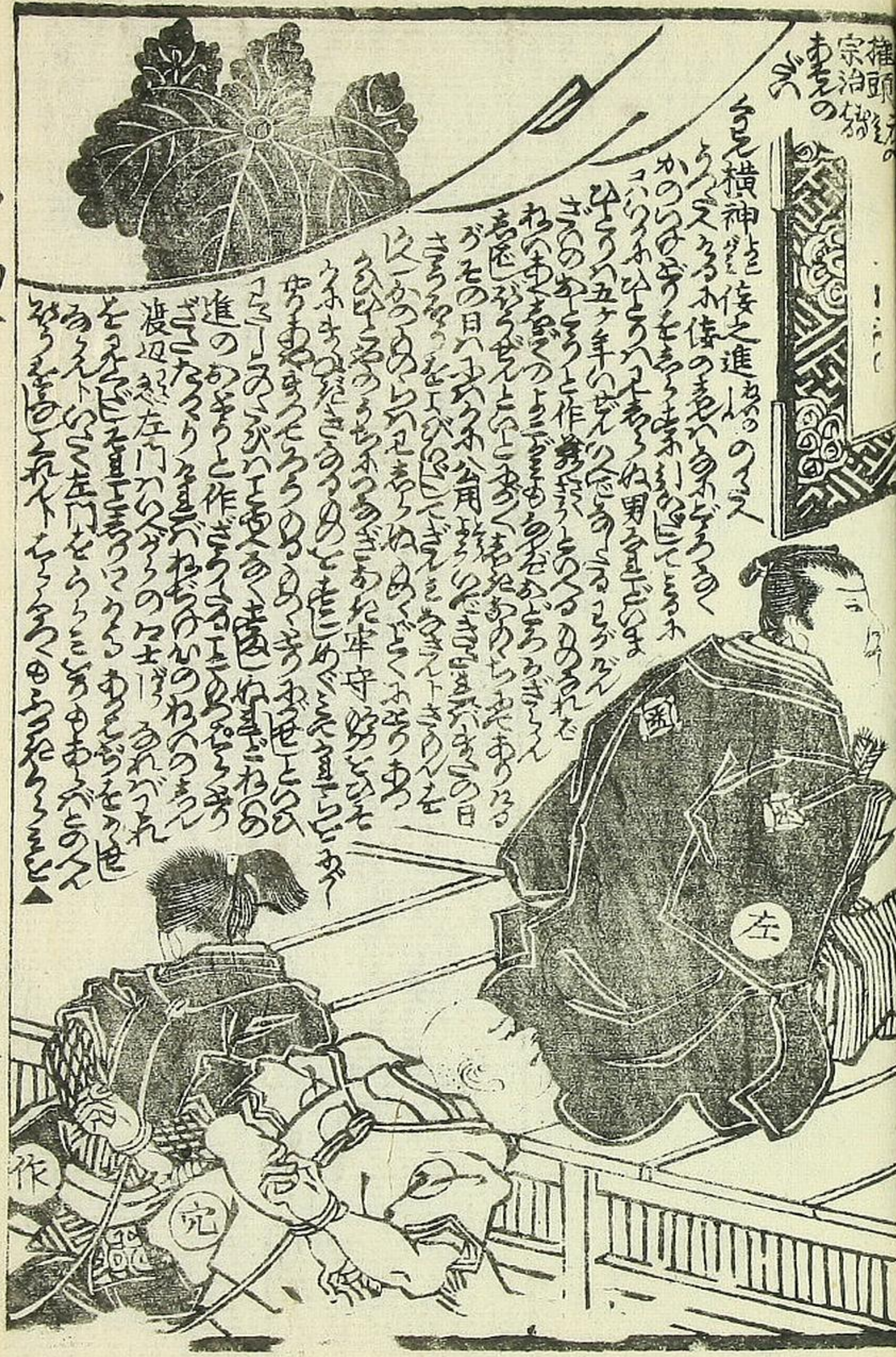


小柄は...
 蔵...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...

左門...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...

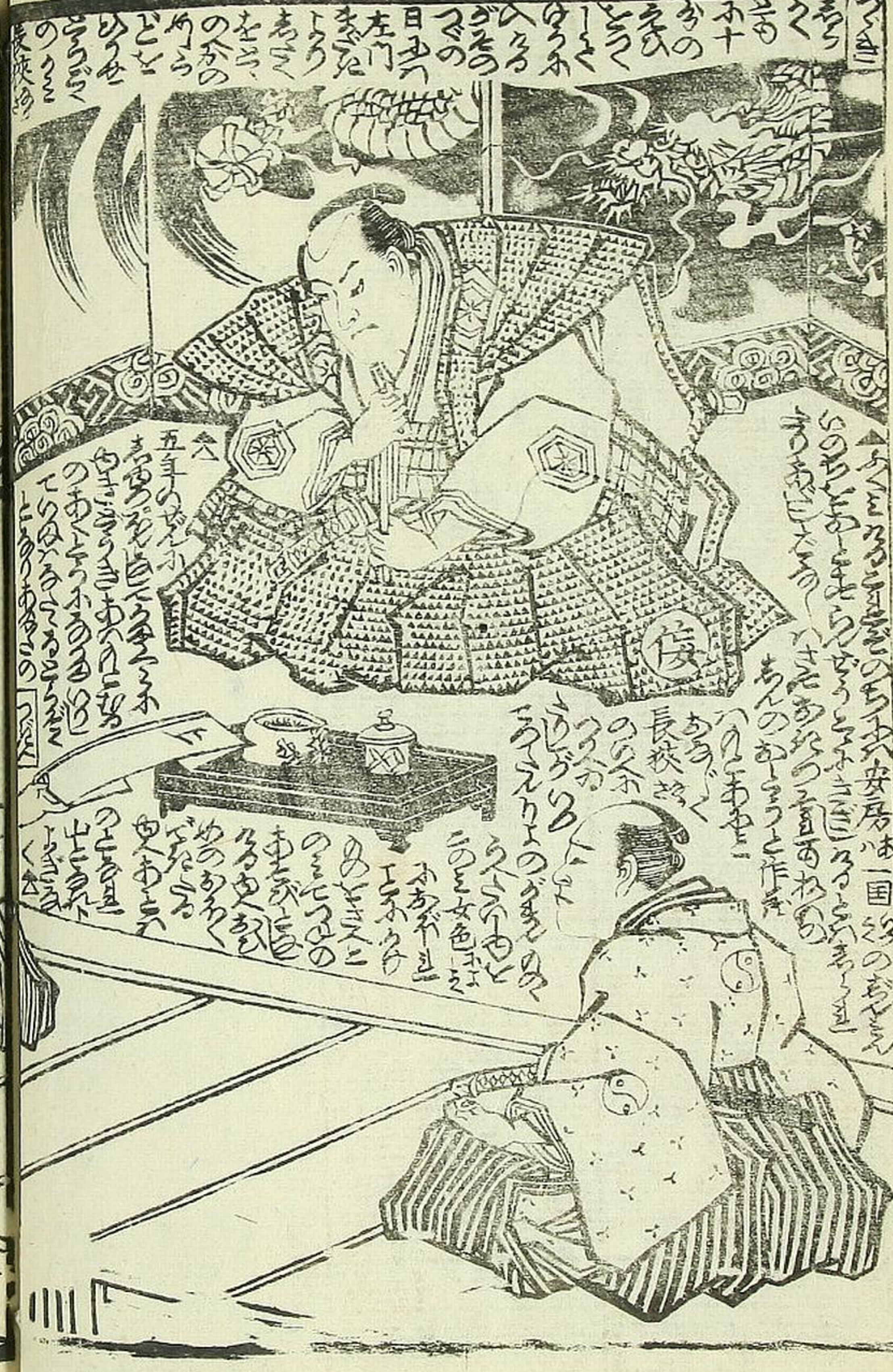
...
 ...
 ...
 ...
 ...

...
 ...
 ...
 ...
 ...



横神とて
 侍之進の
 かのり
 五年の
 左の
 宗治の
 権頭
 の
 宗治

かのり侍之進の
 五年の
 左の
 宗治の
 権頭
 の
 宗治



左の
 宗治の
 権頭
 の
 宗治

五年の
 左の
 宗治の
 権頭
 の
 宗治

秀賀作

秀賀作の物語...
 大志士...
 左門...
 進...
 左門...
 左門...

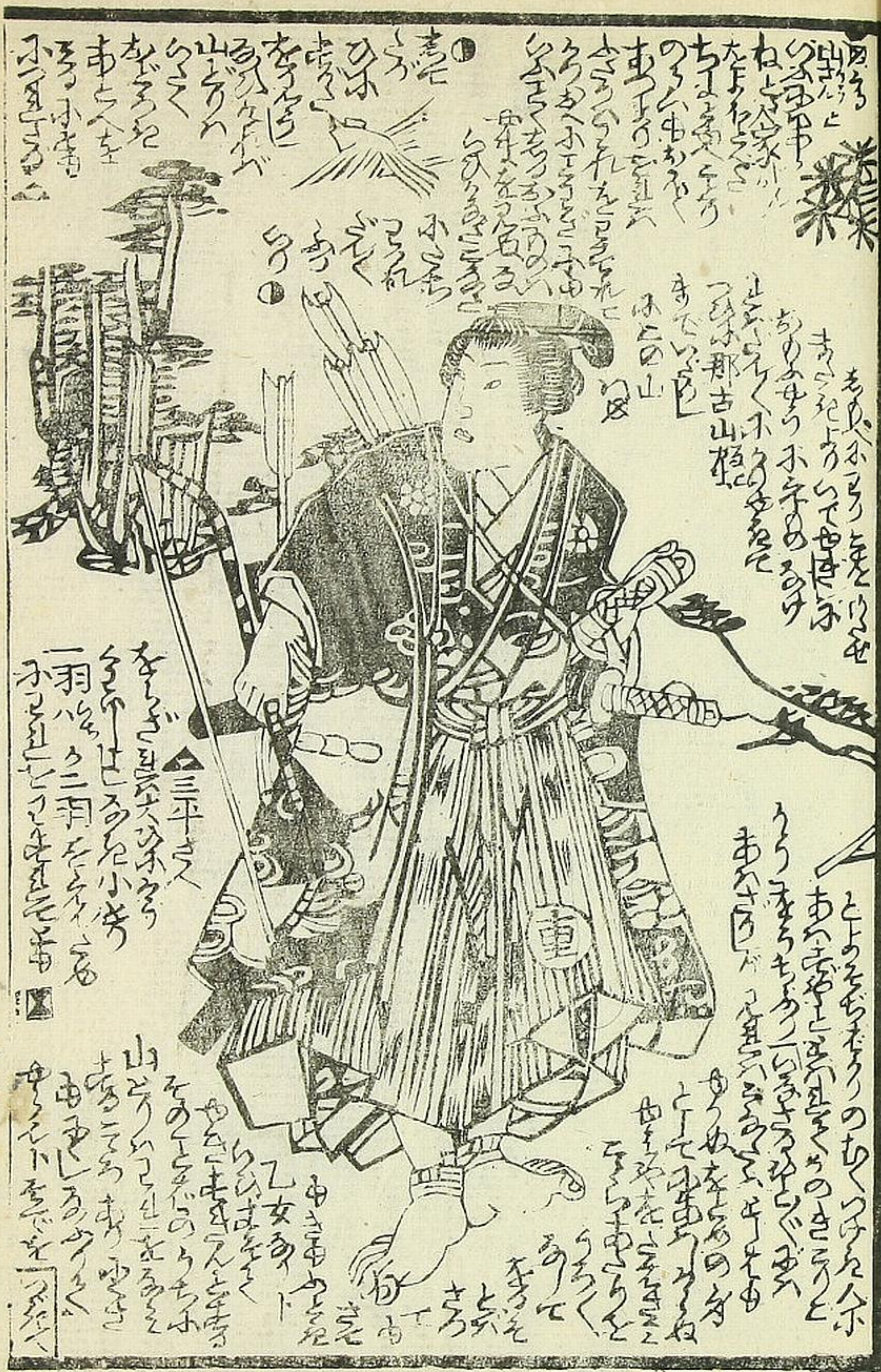
國周画



左門...
 左門...
 左門...



左門...
 左門...
 左門...

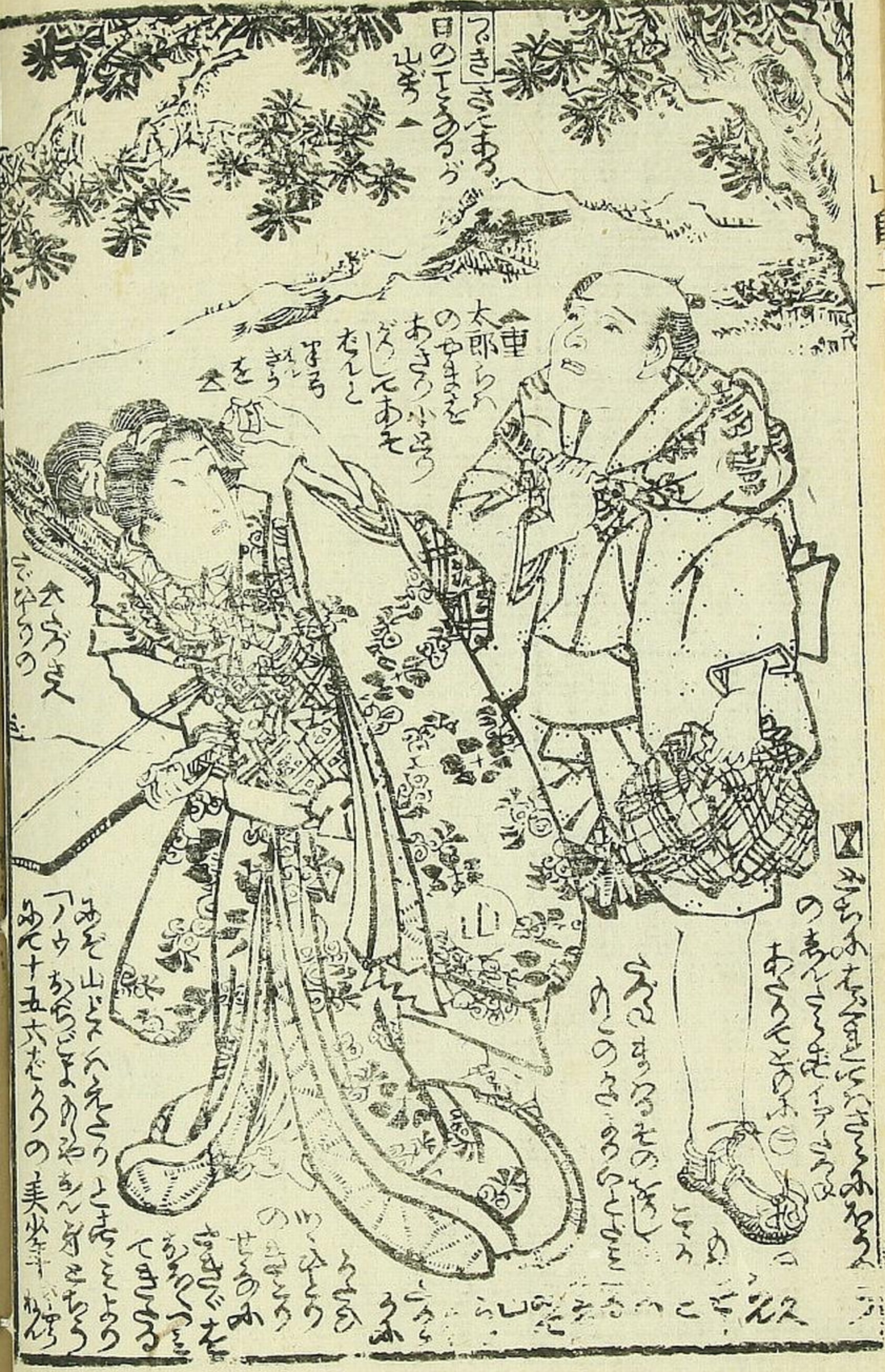


山崎の
山崎の
山崎の
山崎の
山崎の
山崎の
山崎の
山崎の
山崎の
山崎の

重
重
重
重
重
重
重
重
重
重

重
重
重
重
重
重
重
重
重
重

重
重
重
重
重
重
重
重
重
重



山崎の
山崎の
山崎の
山崎の
山崎の
山崎の
山崎の
山崎の
山崎の
山崎の

重
重
重
重
重
重
重
重
重
重

重
重
重
重
重
重
重
重
重
重

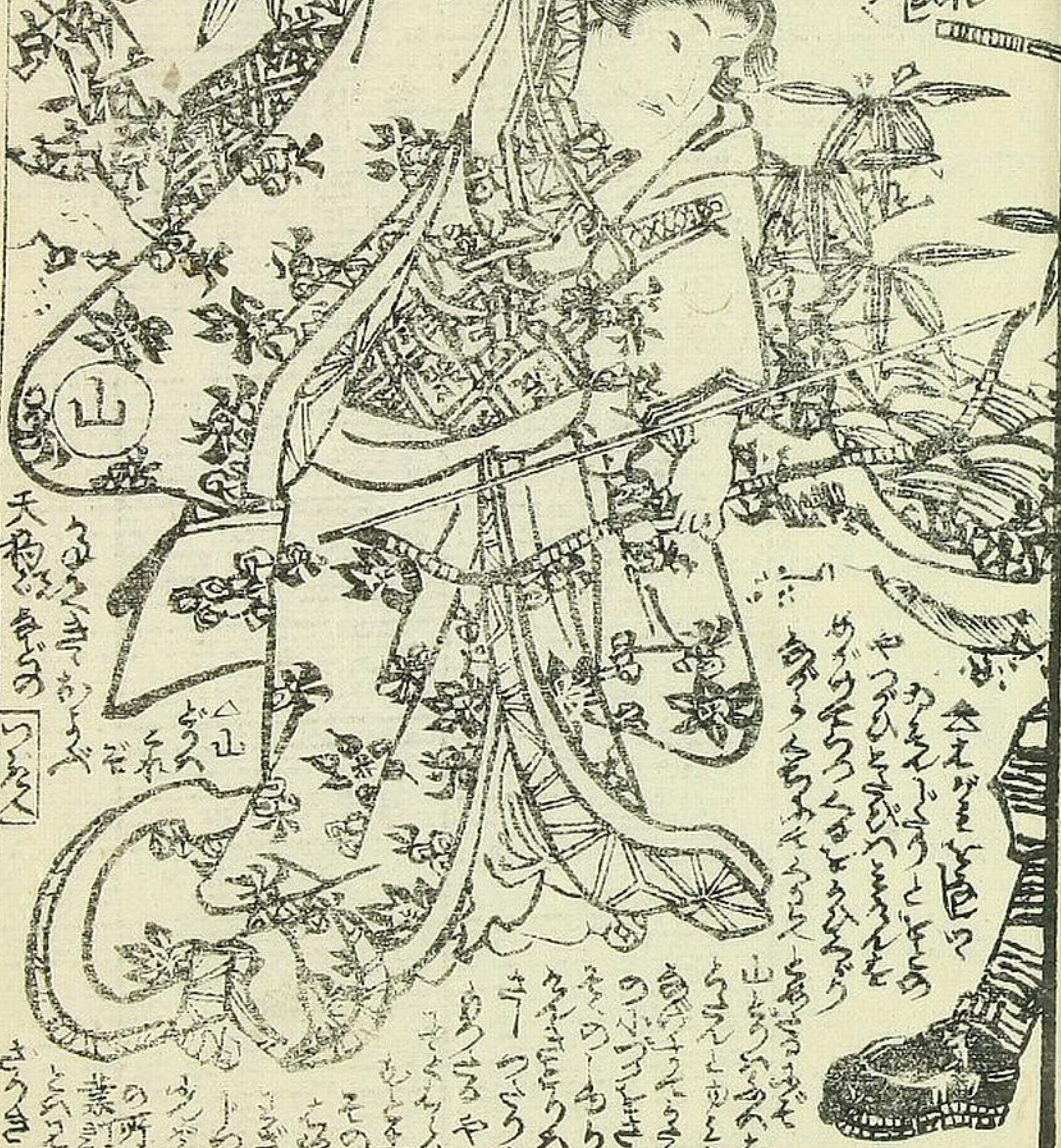
重
重
重
重
重
重
重
重
重
重

つぎに人かたしをこゝろに
 可らうとてをねてをさくはり
 うらふとふもさうして巴も
 頼はるゝふれも帰入の
 手にて甲田がふれをさ
 いさゝのていふふれをさ
 さしふれをさるゝめあつた
 由考へうさるゝまをさ
 おやうさるゝまをさ
 むとゆ月矢をさるゝま
 一万をさるゝまをさ
 まてしちかぶるゝまをさ
 げふらうのせまき山を
 とのやとてをさるゝま
 せとてをさるゝまをさ
 むとゆ月矢をさるゝま

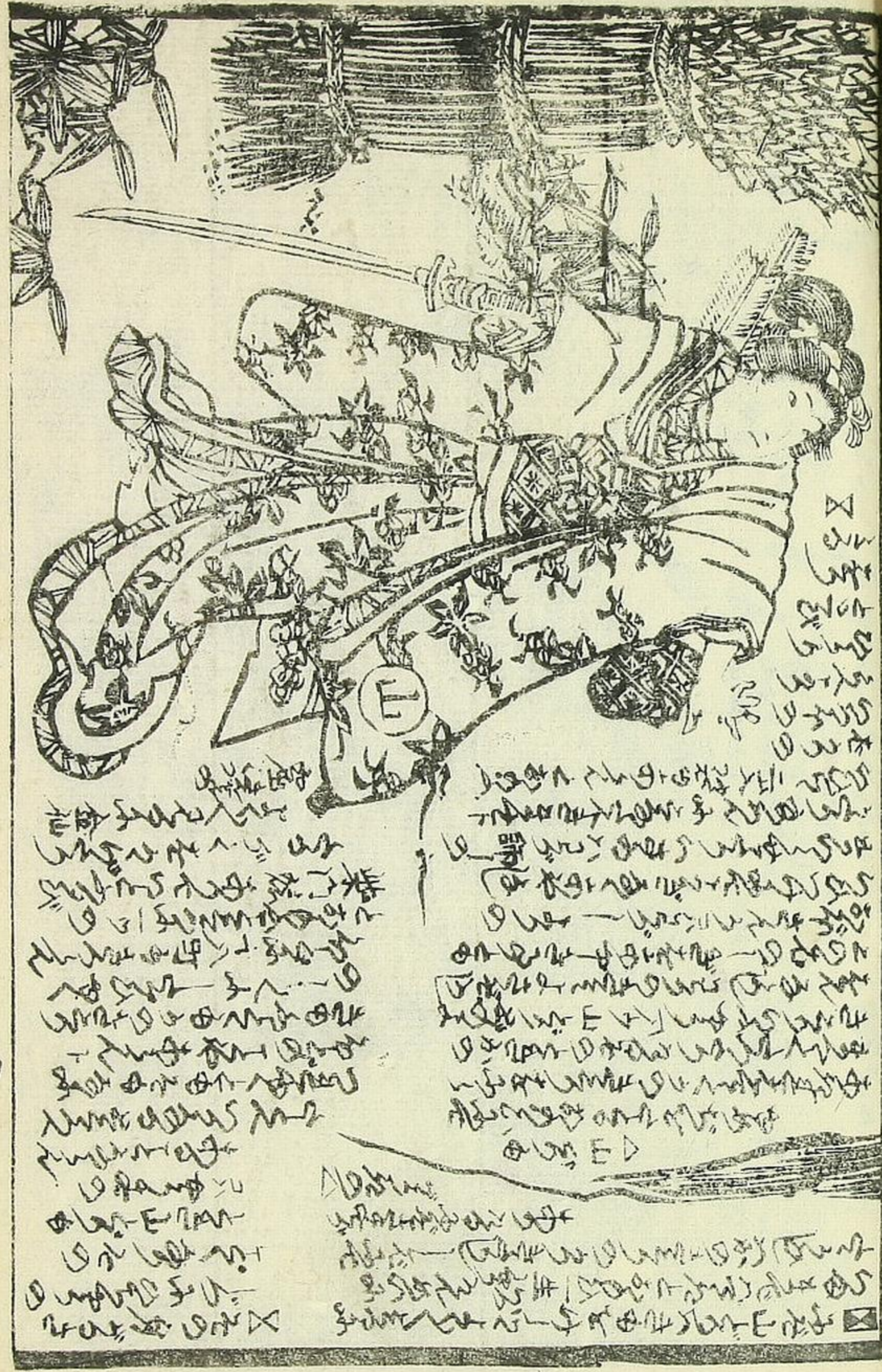


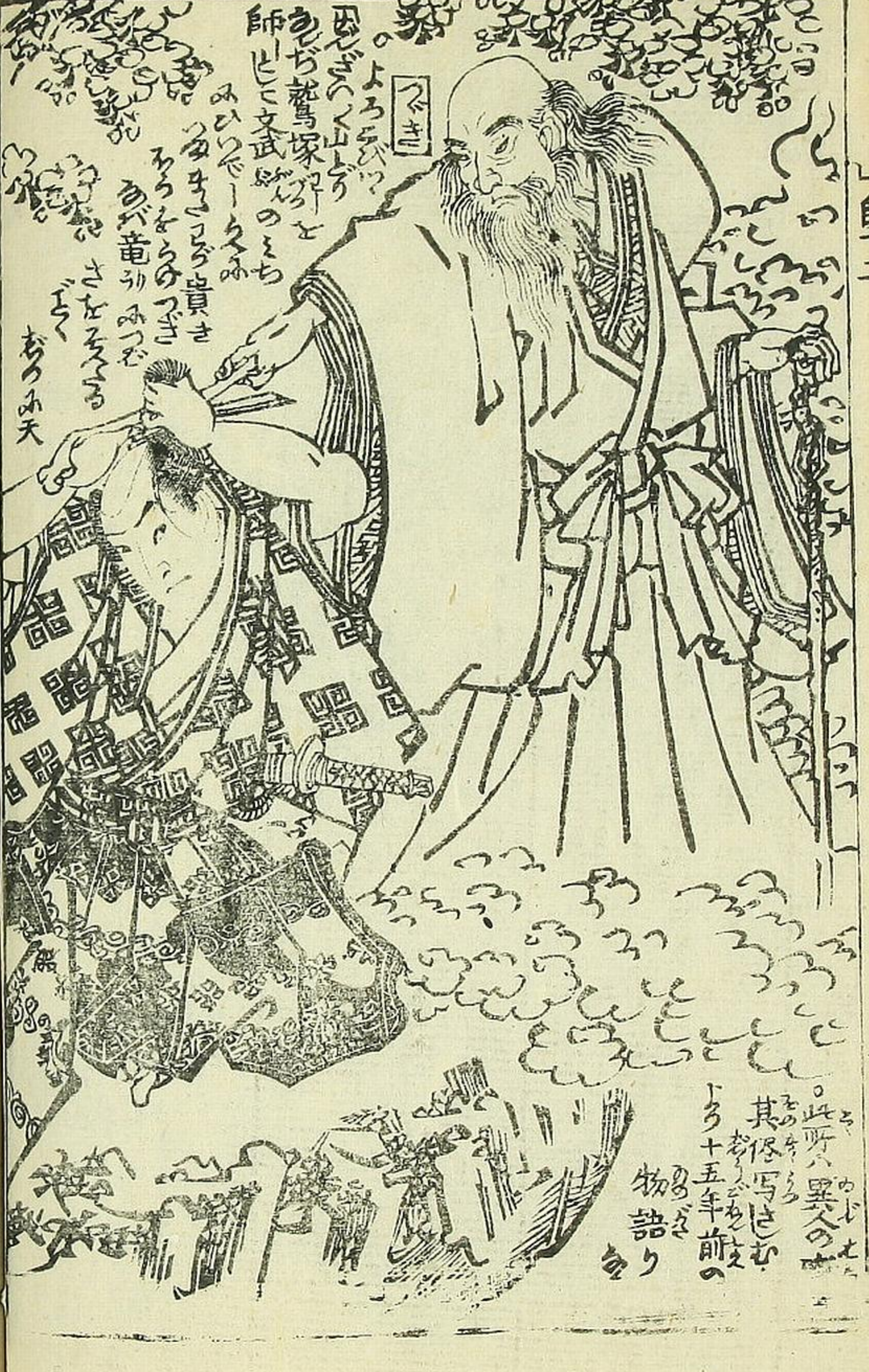
せとてをさるゝまをさ
 山をさるゝまをさ
 むとゆ月矢をさるゝま

山をさるゝまをさ
 むとゆ月矢をさるゝま
 むとゆ月矢をさるゝま



山をさるゝまをさ
 むとゆ月矢をさるゝま
 むとゆ月矢をさるゝま





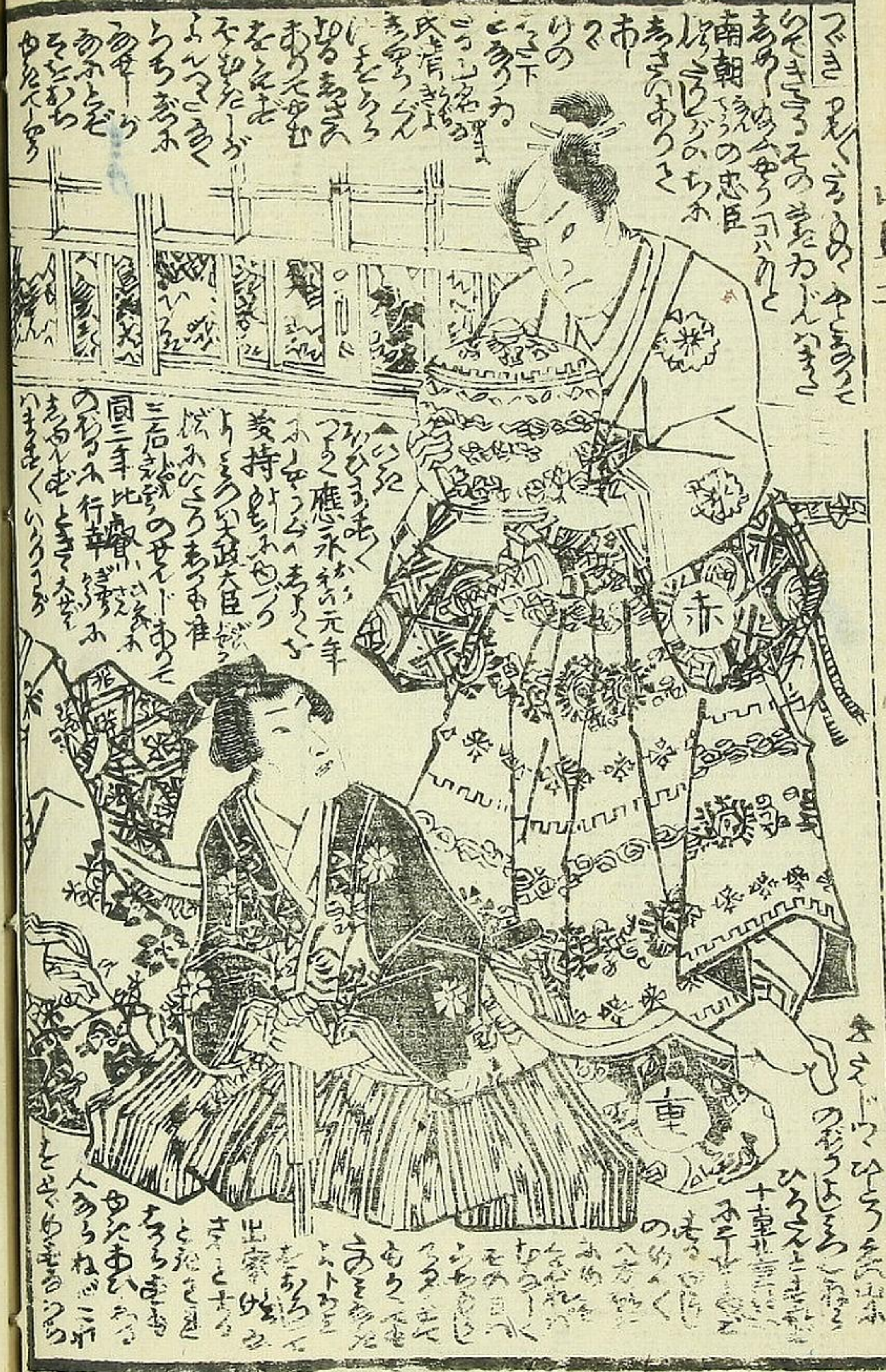
十六

十六

十七

十七

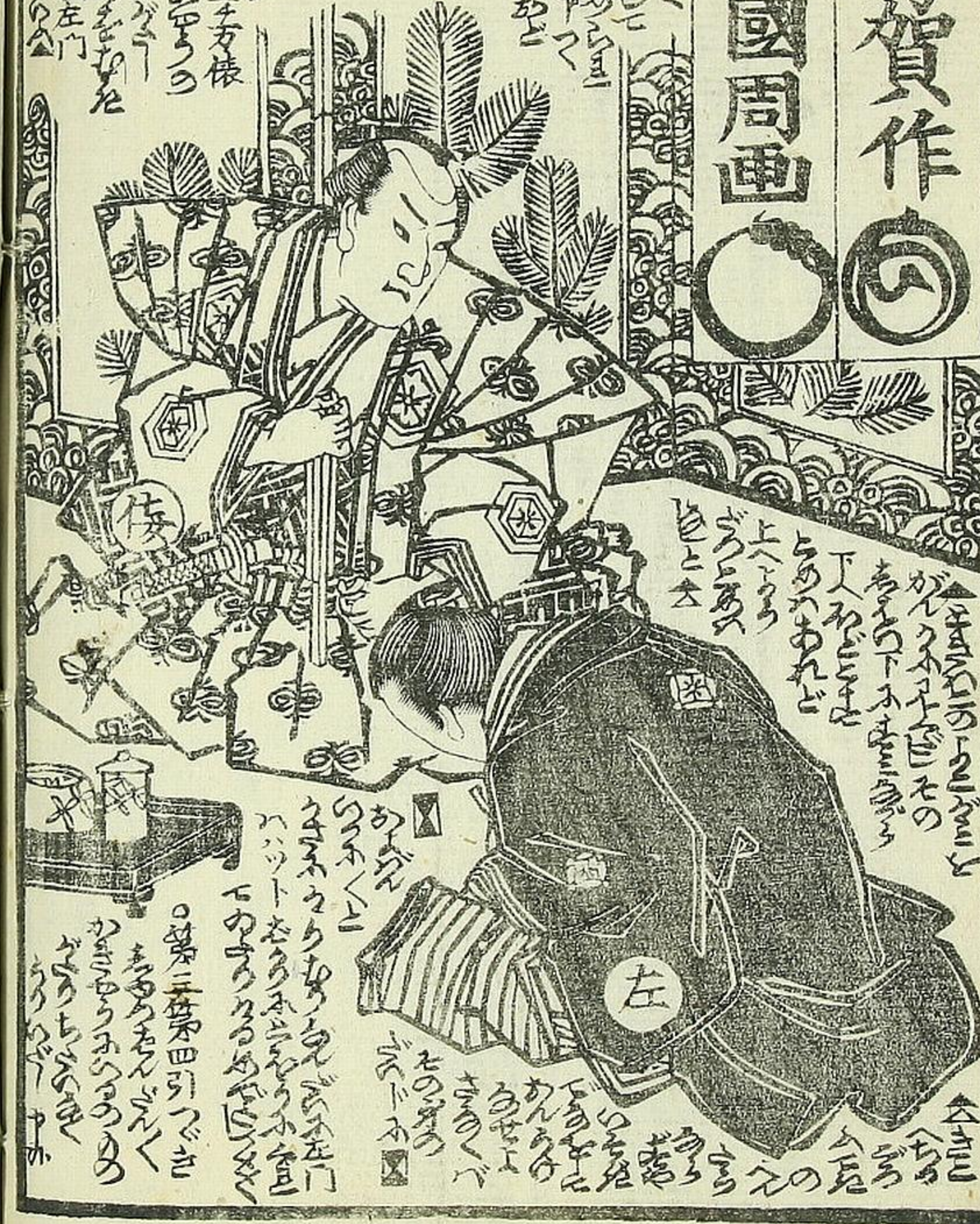
此の山は...
 其の終り...
 十五年...
 物語...



鶴亭秀賀作

一鷲寫齋國周画

此畫乃鷲寫齋國周所作
 三日月の影を映して
 上下の空を分ちて
 左の門を以て
 右の門を以て
 中央の門を以て
 左の門を以て
 右の門を以て
 中央の門を以て
 左の門を以て
 右の門を以て
 中央の門を以て
 左の門を以て
 右の門を以て
 中央の門を以て



此畫乃鷲寫齋國周所作
 三日月の影を映して
 上下の空を分ちて
 左の門を以て
 右の門を以て
 中央の門を以て
 左の門を以て
 右の門を以て
 中央の門を以て
 左の門を以て
 右の門を以て
 中央の門を以て
 左の門を以て
 右の門を以て
 中央の門を以て

010190513799

